

広報

ろく

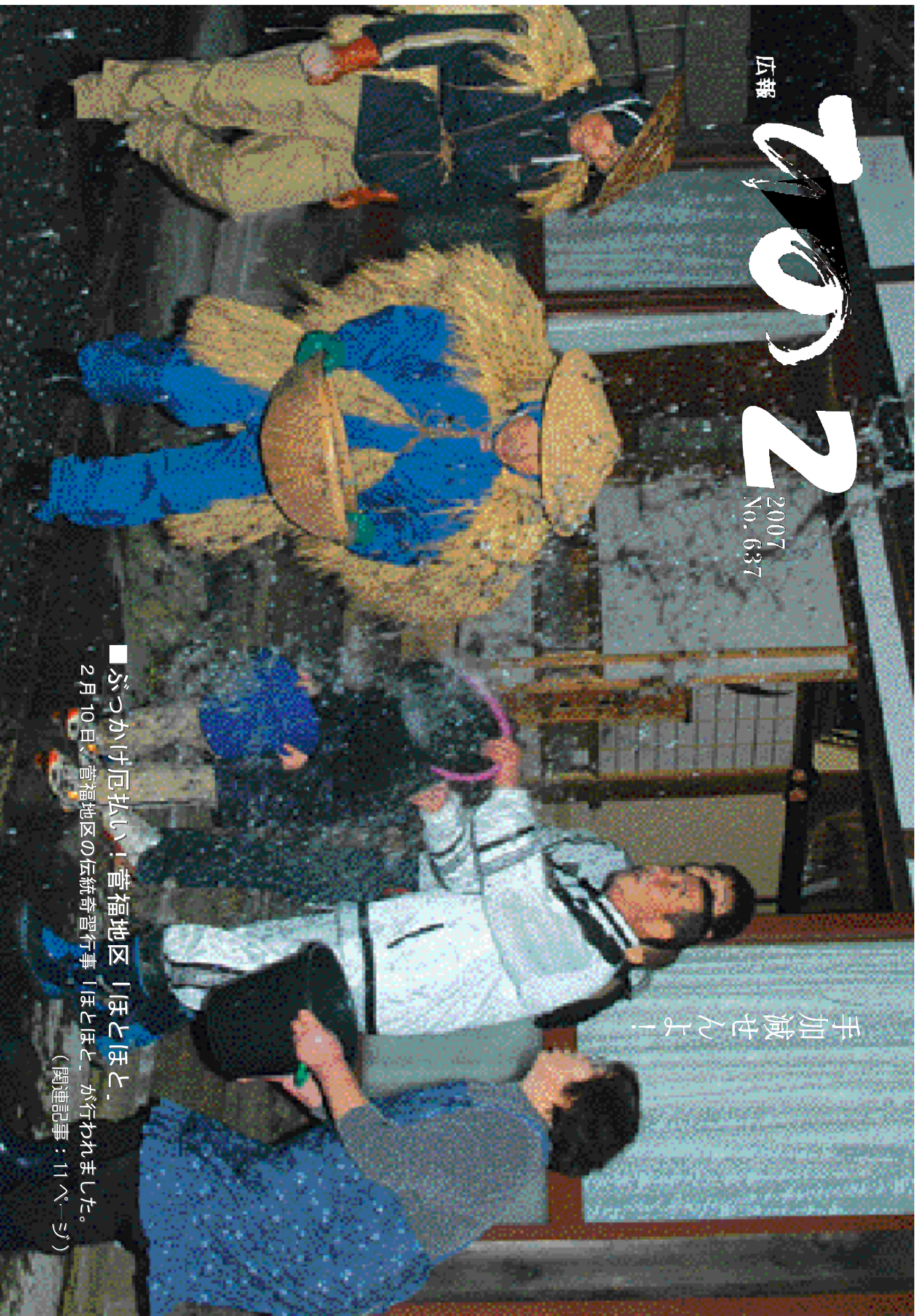
2007
No. 637

手加減せんよー！

■ ぶっかけ厄払い！菅福地区「ほとほと」

2月10日、菅福地区の伝統奇習行事「ほとほと」が行われました。

（関連記事：11ページ）



の思いを町政に

■日野町まちづくり町民会議を設置



厳しい財政状況でまちが財政再建に取り組む中、町民と行政がともに考え、行動し、お互いに理解しながら議論して今後のまちづくりを進めていこうと、「日野町まちづくり町民会議」を設置し、1月30日に第一回の会議を開きました。

推薦・公募の委員で構成
まちの方向性などを議論

町民会議の委員は、根雨、黒坂、菅福の連合区ほか、各地区の自治組織の推薦を受けた委員と公募による委員で構成され、会議には20人の委員が出席しました。

町民会議で議論する内容は町政の課題、まちが目指すべき方向性・方策など。行政だけでなく、地域が自立してまちづくりが進められることを目指しています。

また、会議には委員のほか、町長はじめ町職員も出席し、必要に応じて関係団体を召集して意見を求めることができます。

第一回会議では
まちの現状・課題を説明

1月30日、町役場で開かれた第一回町民会議には委員20人と、まちからは町長、助役および各課長が出席しました。会議では、はじめに景山町長があいさつした後、吉留助役が、現在のまちの財政推計などにより、財政状況や課題について説明しました。

また、委員らの自己紹介とあわせ、一人一人が日ごろか

それぞれのまちへ



日野町まちづくり町民会議委員（五音順）… 生田公恵さん（黒坂）、遠藤初枝さん（榎市）、太田重子さん（中菅）、恩田孝雄さん（黒坂）、景山すみさん（根雨）、加藤敏孝さん（根雨）、木山孝文さん（根雨）、小谷順万さん（津地）、西古尚史さん（黒坂）、坂本和吉さん（根雨）、坂本環さん（菅）、田口郁江さん（舟場）、長尾幸子さん（菅）、松本豊文さん（門谷）、松本誠さん（本郷）、松本洋一さん（根雨）、山下弘彦さん（根雨）、山根靖代さん（黒坂）、行田明美さん（根雨）、若林恵美子さん（金持）

ら感じている町政やまちづくりにについての意見を述べ合いました。

委員長に松本豊文さん
次回は3月末に開催

会議で行われた役員選出において、委員の互選により、委員長に松本豊文さん（門谷）が、副委員長に山根靖代さん（黒坂）と坂本環さん（上菅）がそれぞれ選ばれました。

役員を代表してあいさつした松本委員長が「はじめは気楽な気持ちで参加した会でした。無報酬とはいえ無責任なことは言えない。このたび委員長に選任され、今後のまちの方策などについて少しでも役に立てよう委員の意見をまとめていきたい」と、これからの思いを話しました。

また、協議の結果、次回の会議を3月議会終了後の3月下旬に開き、まちの課題や、平成19年度当初予算や事業などについて話し合われることになりました。

会議の様子や話し合われた事柄、まちとしての取り組み状況は、「広報ひの」の中で取り上げていく予定です。

（次ページへ続く）

まちの課題を出し合い これからの議題に

委員が自己紹介の中で語った意見などについて、主なものを紹介します。

日 野総合事務所に相談に行くとき、役場も「こんにちは」と元気な声で迎えてほしい。気軽に役場に行ける雰囲気づくりを。

こ の会議に出る前に自治会長に何か要望・意見はないかと尋ねたところ、「商売繁盛が一番」とのことであった。まちにお金が流れるようにして、元氣のないまちを何とかしてほしい。

地 域の高齢者に元氣がなくなっているように感じる。一方では、ボランティア活動などに参加して元氣になる子どもたちもいる。今暮らしている子ども、働いている人、高齢者などをきちんと分けながら、これからの収支推計、人口推計をどう考え、どんなまちにするか、皆さんと一緒に勉強したい。



高齢者が元氣で暮らせるまちに

行 政とともに行動し、歩むような町民になりたい。そのためには努力を惜しまない。

今 は、子どもも大人もバラバラであるように思える。みんな支えあって生きていてよかったと言えるまちにしたい。

昨 年の大雪のときは、独居世帯の雪かきで汗を流し

た。会議でいい事を言うのではなく、本当にまちをどうするのか、みんなと一緒に汗を流す気持ちで会に参加した。

昔 はまちが大好きだったが、都会に出て帰って見たらあまりにも変わっていて嫌いになった。嫌いなまちをこれからどうするのか、皆さんと一緒に考えて、よい方向を出していきたい。

金 持神社に観光客が多く来ており、特にこの正月はものすごい人出だった。観光振興について、今後どのような体制をとればよいのか話し合っていきたい。



連日観光客が訪れる金持神社

景山町長あいさつ

この会議は、私が町長になってから2月で1年を迎え、町民主権を基本姿勢に取り組んでいる中、町民の皆さんとともに歩む町政を行っていきたいという思いで立ち上げました。

また、日野郡民会議の議事録を見ると、町政に関する意見や思いが多くあり、皆さんの思いが町政に届いていないと感じました。

委員は、各地域からの推薦と公募の両輪で進めることにしました。皆さんには快く賛同いただきありがたく思います。

また、町民の半分は女性であり、ぜひ女性の意見を伺いたいと思い、当初6人の女性委員の枠を考えていたところ9人もの参加があり、大変うれしく思っています。

まちの課題はともかく財政再建が一番。夕張市の二の舞になってはいけません。この会議で、日ごろ皆さんが思っておられることをどんどん出していただき、まちづくりに生かしたいと思っています。

農

業や林業の地域活動に対して国からの交付金が出ているおかげで集落で共同作業ができるようになり、除草、水田の管理など、できることは自分たちでしているが、行政のすべき部分は行政。まちは何もしないではなく、その中でできることを目指してほしい。

ま

ちの産業・文化・スポーツの振興について話し合い、活力のあるまちにしたい。

自 分が住んでいる地域では、20年程前には65歳以上の人は2割ぐらいだったと思うが、今では6割になっている。子どもは1割程度。この会議で地域のために貢献できればと考えている。



地域に根ざしたD.O.スポーツの活動に期待

学校給食試食会

学校給食の意義・役割などについて児童生徒や地域の理解を深めるための全国学校給食週間（1月24日から30日）の期間中、町内の小中学校では学校給食の試食会が開かれました。

試食会には、保護者や行政職員をはじめ、給食に食材を提供している生産者らが参加し、子どもたちと語らいながら給食を味わいました。

試食会の献立のテーマは「地産地消」で、地元産の野菜や、町内で養殖されさ



黒坂小学校では児童全員が同じ教室で食べています



みんなで食べるとおいしいね

れているホンモロコなどの食材が使われており、野菜を提供しているJA女性会からの参加者が子どもたちに感想を聞いている姿もありました。

町内の学校給食では、しょうゆ原料の大豆以外の食材はすべて国内産を使っています。米はすべて町内産コシヒカリを使っており、野菜は県内産が7割、そのうち3割は町内産です。

また、旬のものが味わえるよう、献立をJA女性会の野菜の収穫時期なども考慮して決めるなど、安心・安全な給食に取り組んでいます。

生産者の顔が見える安心・安全な学校給食を

広報写真（組み写真）の部で特選

■県広報コンクール

1月22日に県庁で開かれた県広報コンクール審査会で、広報写真（組み写真）の部で「広報ひの2006年1月号」の2、3ページ『町民ミュージカル特集』が特選に選ばれ、4月に開かれる全国広報コンクールに推薦されることになりました。

また、広報誌の部では、「広報ひの2006年5月号」が入選2席に選ばれました。



「広報ひの2006年1月号」町民ミュージカル特集
舞台の熱気が伝わるよう、写真を効果的に配置しました

町営バス新路線などについて審議



通勤・通学でにぎわう朝の根雨駅。バスと鉄道の連絡が課題

町地域公共交通会議を設置

広く意見を聞き
より良い輸送サービスを

まちでは、町民の生活に必要な公共交通機関の充実と利便の向上を図ろうと、町地域公共交通会議を設置し、2月6日、町役場で第1回の会議を開きました。

会議は、昨年10月に改正された道路運送法の規定により設置するもので、広く住民や関係者の意見を聞き、地域の実情に応じた、バスなどの公共交通機関の必要性や運行形態、運賃など、より良い輸送サービスの実現について協議、検討するためのものです。

委員の構成は、町長、町営バス運行事業者、町営バス利

用者代表、交通関係事業者らをはじめ、昨年12月に町民から公募した委員を含めた17人。この会議は、今回のほか町営バスの経路変更の際など、必要に応じて随時開かれます。

今後のバス運行など
さまざまな課題を協議

会議では、はじめに景山町長が「昨年1月から町営バスを運行しており、今回の会議ではその報告も併せて行いたいと思います。また、現在根雨駅と日野病院の間を無料運行しているおしどりバスについて、日野病院が4月から町営バスとして有効活用してほしいとのことであり、この会

議で協議して住民の交通機関をどうしていけばよいのかを審議させていただきたい。さらに、町営バス運行の見直しもしたいと考えています。委員の皆さんの率直な意見をいただきたい」とあいさつし、

その後に行われた役員選出において、委員の互選により会長に景山享弘町長が、副会長には青砥昭雄さん（福長）がそれぞれ選ばれました。

次いで、役場総務企画課から町営バスの運行状況についての説明があった後、町営バス根雨宿・病院線の新設や菅福線の運行経路・ダイヤ変更などについて協議されました。会議で審議された内容は次ページのとおりです。

交通会議での審議内容

●町営バスの運行状況

町営バスは、昨年1月4日から、菅福線、板井原・真住線、奥渡線の3路線で運行を開始。8月1日から奥渡線を小原まで、11月1日から板井原・真住線を三土までそれぞれ延長して運行しています。

昨年1年間の町営バス利用者は4万1441人で、1便あたりの平均利用者は7・02人。運賃収入は695万8961円で、内訳は現金収入が1661万9161円、定期券・回数券販売の収入が53万9800円です。

●町営バス路線の新設

現在日野病院から根雨駅までの間を運行している「おしどりバス」を3月末で廃止し、新たに町営バス路線に「根雨宿・病院線」を新設して運行する予定です。

根雨宿・病院線は、おしどりバスの路線を基本に、サン

プラザ前から根雨駅を経由、根雨のまち中を通り、日野病院までの3・4^キを往復するもので、1日6往復運行する予定です。車両はおしどりバスの車両を使います。

運賃は、根雨宿・病院線に限り1回の乗車につき100円（小学生以下50円）とする予定です。なお、他の路線は従来どおり200円（小学生以下100円）です。

路線新設については、今後町議会の承認、陸運局の許可が得られれば4月2日から運行する予定です。

●菅福線運行経路の変更

黒坂のまち中を通る町営バス菅福線は、黒坂橋が大型車両が通行できないため、黒坂中央橋から黒坂駅で折り返して運行しています。現在、黒坂橋の補修工事を行っており、完成後は黒坂橋を通る経路に変更し、利便の向上を図る予定です。経路変更時期は5月



交通事業者、利用者から活発な意見交換が行われる

を目標にしています。

●菅福線夏ダイヤの変更

町営バス菅福線では、中学生の部活動の時間に合わせて、現在、5月から10月までを夏ダイヤ、11月から4月までを冬ダイヤとし、下校時間に対応してきました。このたび、

4月から9月までを夏ダイヤ、10月から3月までを冬ダイヤとしてほしいとの要望があり、来年度から変更する予定です。

●12か月定期券の発行

町営バスの通学定期券を、現在の1・2・3か月の3種類に加え、新たに12か月定期

券を発行します。料金は、中・高校生が3万6000円、小学生以下は1万8000円です。

●委員からの意見

○根雨宿・病院線の新設にあたり、バスの車体に100円バスということが誰にも分かるような表示をしてほしい。

○日野病院での診療が終わった後、昼の便のバスに間に合わなかったり、根雨駅までバスに乗っても電車で間に合わないときがある。利便性を考えた運行を。

○菅福線を午前中にもう1便増やしてほしい。根雨に買い物に出るのも、朝8時では早くて出られない。

このほか、ひのっこ保育所まで町営バス路線を延長してほしいなどの要望もありました。これらの意見については、今後の交通会議で検討していきます。

会議や町営バスなどについてご意見などがありましたら役場総務企画課（電話72・0331）までお寄せください。

確定申告

期間中に正しい申告を

- 所得税、住民税の申告は3月15日（木）までの期間中に申告してください。
- 申告の日程など、詳しくは「広報ひのおしらせ版 1月5日号」をご覧ください。本紙19ページの「くらしのカレンダー」にも3月分の日程を掲載しています。
- 国税庁ホームページ（<http://www.nta.go.jp>）内の「確定申告書作成コーナー」で、申告書などが簡単に作成できます。
- お問合せは 役場住民課（電話 72 - 0333）まで

平成18年中に所得があった人はすべて申告が必要です。この申告に基づき平成19年度の町県民税、国民健康保険税、介護保険料などの算定をしますので、正しい申告をしてください。

国民健康保険の被保険者は所得がなくても必ず申告してください。申告をしていない場合は、保険税の減額対象者でも減額が受けられなくなることがあります。

また、申告がないと所得証明などの証明書が発行できなくなりますので必ず申告してください。

■申告に必要なもの

申告には次のものが必要です。必ずご持参ください。

- ①印かん
- ②税務署から申告書が送付されている人はその申告書と、事業所得などがある人は同封の収支内訳書
- ③農業所得がある人は、収支内訳書と内容がわかる書類
（町作成の収支内訳書は、役場住民課または役場黒坂支所にありますのでご利用ください）
- ④給与、年金などがある人は源泉徴収票
- ⑤医療費控除を受ける人は、18年中に支払った医療費の領収書と、保険などで補てんされる金額の明細書
- ⑥社会保険料控除がある人は、社会保険料（国民年金保険料）控除証明書（はがき）
- ⑦生命保険料控除、損害保険料控除がある人は、支払った保険料の証明書
- ⑧住宅借入金等特別控除を受ける人は、登記簿謄本、住民票抄本、工事請負契約書、住宅取得資金に係る借入金の年末残高等証明書
- ⑨公共事業で土地や家屋の買収があった人は、買取証明書
- ⑩山林、土地の譲渡があった人は、売買契約書
- ⑪還付申告の場合には、還付金の振込先の口座番号がわかるもの
（本人名義の口座に限る）

■税務署からのお知らせ

所得税・贈与税等の確定申告相談を、米子コンベンションセンター（ビッグシップ）で開きます。ご自分で申告書を作ることが難しい場合にご利用ください。
※米子税務署、明道公民館、米子市役所は会場ではありません。

とき 3月15日（木）まで（土・日・祝日は除く）
ところ 米子市末広町294 米子コンベンションセンター（ビッグシップ）
問合せ 米子税務署 個人課税第一部門（電話0859-32-4121）

まちの話題



煙を舞い上げて楽しむ人々

今年一年の息災を祈願

黒坂地区とんどさん

一年間の無病息災を願う地域の伝統行事「とんどさん」が、今年も町内各地で行われました。

1月14日には、黒坂地区コミュニティ推進協議会（柴田滋会長）主催のとんどさんが黒坂小学校校庭で行われ、黒坂・菅福地区の住民約100人が正月のしめ飾りなどを持ち寄り、一年の健康などを祈願しました。会場では、お神酒とぜんざいが振る舞われ、年頭お互いの交流を深めました。

球はソフトに、試合はハードに

ソフトバレーボール大会



4人1チームで熱戦を展開

大会結果

優勝	チームケンイチ
準優勝	やっさんず
第3位	Junchan's

1月15日から2月5日までの毎週月曜日、総合型地域スポーツクラブDo・スポーツ（森田勝彦会長）主催の夜間リーグソフトバレーボール大会が日野中学校体育館で開かれました。ソフトバレーボールは、バレーボールよりも小さなバドミントンコートを使って、通常のボールよりも柔らかいボールで行う新しいスポーツ。Do・スポーツでは今年度からソフトバレーボールのサークル活動を行っており、大会を開くのは初の試み。

大会には、地域や職場で結成された10チームが参加、寒さを忘れての熱戦が繰り広げられました。

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。

☆役場総務企画課まで（電話72・0331）



長島茂雄さん、新庄選手らのサイン色紙がずらり

被災を振り返るきっかけに

西部地震激励品展

鳥取県西部地震の際に各界から県に寄せられた激励品を展示した「がんばれ鳥取県！西部地震、各界からの激励品展」が、3月28日まで鳥取県西部地震展示交流センター（根雨）と、日本一小さな「蔵」美術館（上菅）で開かれています。

野球、サッカー、ゴルフなど、スポーツ選手のサイン色紙を中心に50数点が展示されています。ぜひお出かけください。（詳しくは、広報ひの1月号13ページをご覧ください）



現在の会員は、阪神地域在住者を中心とした63人

遠くふるさとを思う

ひの郷会総会

関西在住の日野町出身者懇談会、ひの郷会（森田融彦代表世話人）の平成19年度総会が、1月20日、大阪市内で開かれました。

総会には会員、町関係者33人が出席、事業報告や意見交換が行われ、財政状況の厳しい町に対しての意見や、今後のひの郷会のあり方についてなど活発な意見が交わされました。また、総会終了後の懇親会では久しぶりの再会に親ほくを深めました。

江戸時代の黒坂を知る

日野郡の歴史セミナー

私たちが暮らしている日野郡の歴史について深く学ぼうと、1月17日、日野郡の歴史セミナー（日野総合事務所県民局主催）が町公民館で開かれました。

今回は、郷土史家の牧智也さん（黒坂）を講師に、「黒坂城」をテーマにした講座が行われ、町内を中心に約30人が参加しました。

牧さんは、江戸初期の黒坂陣屋や黒坂城の成り立ちを古文書や古地図などを使って解説し、また、「歴史を知るだけでなく、私たちの子孫のために、皆さんが人生の中で見聞きしたことをぜひ書き残しておいてほしい」と語りかけました。



貴重な江戸時代の黒坂の地図を見ながら解説

不思議なファンタジーの世界

さん・ふい るご公演「真昼の月」

町内で活動している劇団、お芝居くらぶさん・ふいーるご（佐野咲百合代表）のチャリティー公演「真昼の月」が、1月20日、21日の2日間、町文化センターで上演されました。

物語は、主人公の青年・那月に古代人の人格が現れたことから起こる不思議な出来事と、那月が思いを寄せる陽との恋を描いたファンタジー作品で、7人の出演者からはそれぞれの個性を生かし熱演、集まった計160人の観客から温かい拍手が送られました。

この公演の収益金の全額は骨髓移植推進財団に寄付されることになっています。さん・ふいーるごでは、こうしたチャリティー公演を2001年から続けています。



暗闇に浮かび上がる印象的な舞台

自然の恵みに感謝



「1、2、3…」と、順番にもちをつく

根雨小もちつき収穫祭

収穫を祝い、自然の恵みに感謝しようとして、1月22日、根雨小学校（石脇昭弘校長）でもちつき交流会が開かれ、全校児童と保護者らが参加しました。

この日使ったもち米は、農業生産学習として学校近くの水田で児童らが栽培したもの。開会式では、生徒代表として加藤梨馨さん（5年生）が「今年も待ちに待った収穫祭です。みんなが楽しくもちつきをしましょう」とあいさつした後、にぎやかにもちつきが行われました。

ジゲの芸術家の作品ずらり

金持婦人会作品展

金持地区住民の手づくりの品々を展示する、金持婦人会（若林恵美子代表）主催の作品展が、1月28日、金持公民館で開かれました。

金持地区で作品展を開くのは今回がはじめてのこと。出品されたのは、地元的女性たちが作った押し花、パッチワーク、編み物、お手玉、前掛けなどの手芸品。

作品展には金持地区住民をはじめ、町内から約40人が訪れ、ずらりと並んだ力作の数々を前に、お茶のサービスを受けながらのおしゃべりも交え、楽しく作品を鑑賞していました。



額に収められた押し花をゆっくり楽しむ

真冬の日野川で心身の鍛練

錬成会館空手寒げいこ

新年を迎え、新しい気持ちで心身を鍛えようと、日本少林寺流空手道錬成会館鳥取県支部（音田守支部長）主催の寒げいこが、1月28日に開かれた。

真冬の恒例行事になっている寒げいこも今回で23回目。はじめに町文化センターで開かれた屋内げいこでは、音田支部長が「これまでの寒げいこで学んだことは、油断大敵ということ。最後まで気を抜かないように」とあいさつしました。

参加したのは、鳥取県支部をはじめ、大阪、兵庫地区本部からの参加者を含めた約60人。基本の突きなどの稽古や型の披露などで体を温めた後、JA日野支所下の日野川へ移動、身を切る冷たさの川に次々に入っていく、大声で気合を入れながら拳を突き出して稽古を行い、一層の精進を誓いました。



寒さを我慢して「エイ、ヤー！」

悪い鬼を追いつこう！

黒坂保育所豆まき

立春の前日である2月3日の節分を前に、2月2日、黒坂保育所で豆まきが行われました。

園児たちは手づくりの鬼のお面をかぶって集まり、保育士から豆まきの説明や、「おにとおひやくしようさん」のおはなしを聞いた後、自分の中にいる「追い出したい鬼」を発表しました。子どもたちは「風邪引き鬼」「怒りんぼ鬼」「弱虫鬼」など、元気に答えていました。

最後にはテラスから園庭に向かって「鬼は外！」と唱えながら炒った大豆をまき、今年も元気で過ごせるよう願いました。



願いを込めて豆をまく

5年前から復活、恒例行事に

伝統奇習行事 ほとほと

菅福地区に古くから伝わる伝統奇習行事「ほとほと」が、2月10日、同地区内で行われました。

これは、地元の男性がみのかさ姿のほとほとと役にふんし、今年厄年を迎えた人の家に訪問して厄落としをするというもの。地元では30年程前から行われなくなっていたものを5年前に復活させ、今では冬の恒例行事になっています。

今年は10戸の家庭を訪問。まずほとほと役が厄落としのわら細工を縁側においていったん引き返します。家人がわら細工を家の中に入れ、代わりにお礼の品物を縁側に置くと、ほとほとがそれを受け取りに再び訪れ、品物を持って帰るところを家人が冷水を浴びせかけます。

水をかけることが厄払いになるということで、訪れた家では、家族そろって勢いよく水をかけ、厄落としの祈願をしていました。



そうきに入った厄落としの品を置くほとほと役

役場宿直員を募集

まちでは、平成19年度の役場宿直員を募集します。

募集人数 宿直員3人

委託期間 平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

業務内容 ①庁舎及び山村開発センターの戸締り、火気点検②文書等の收受・保管、電話対応等③非常事態発生時の応急措置及び関係者への連絡勤務条件等 ①就労時間 午後5時～翌午前8時30分②委託料 1回につき4700円

申込方法 3月12日(月)までに、申込書を役場総務企画課まで提出してください。

※申込書は、役場総務企画課、役場黒坂支所にあります。

委託決定 面接選考により決定。3月20日までに委託者に連絡し、委託契約します。

問合せ 役場総務企画課(電話72・0331)

町障害者保健福祉計画

意見募集



まちでは、障害福祉サービスや障害者の雇用促進、支援体制の充実などを目的とした「町障害者保健福祉計画」の策定にあたり、広く住民の皆さんからの意見を募集しています。

役場健康福祉課窓口と町公民館窓口計画の素案がありますので、ご覧のうえ役場健康福祉課まで意見などをお寄せください。

募集期間 3月5日(月)まで

問合せ 役場健康福祉課(電話72・0334)

ご利用ください

年金相談窓口

米子社会保険事務所では、次のとおり年金相談をお受けしています。例年3月下旬から4月にかけて相談窓口が大変混雑しますので、比較的混雑の少ない平日の午前8時30分～午前10時ごろまでと午後3時以降、および第2土曜日をご利用になると便利です。

また、第2土曜日は相談時間の予約を受けています。

米子社会保険事務所年金相談受付時間 平日 午前8時30分～午後5時15分。

ただし、毎週月曜日は午後7時まで受け付けます(月曜日が祝日の場合は翌日)。

第2土曜日 午前8時30分～午後4時

相談会場 米子社会保険事務所(米子市西福原2・1・34)

問合せ 米子社会保険事務所(電話0859・34・6111)

■古い電話帳の回収にご協力を

NTT西日本では、3月から順次新しい電話帳を配布します。その際、現在お使いの電話帳は回収しますので、配達員へお渡しください。回収された電話帳はリサイクルし、新しい電話帳の原料になります。

なお、配達の際にご不在の場合は、別途回収にお伺いしますので、タウンページセンタまでお電話ください。

※電話帳広告料金請求書にご注意！

NTTグループが発行している電話帳広告料金の請求書には、NTT西日本またはNTT中国電話帳株式会社の名称が必ず明記されています。「タウンページ」「ハローページ」に掲載されている広告の切り抜きを貼り付けた金融機関の振込用紙は、NTTが発行している電話帳の広告料金請求書とは全く関係ありません。不審なことがありましたらお問合せください。

問合せ タウンページセンタ
(電話0120・506309)

スポーツ安全保険 加入のご案内

スポーツ安全保険は、アマチュアのスポーツ・文化・ボランティア・地域・指導活動をする団体(5人以上)を対象に、グループ活動中の傷害事故や賠償責任を負う事故を補償する制度で、現在1,000万人の加入実績があります。加入内容、申し込みなど、詳しくは教育委員会までお問合せください。

- 受付 3月1日から
- 保険期間 4月1日から1年間
- 問合せ先 町教育委員会事務局(電話72・2107)
町公民館(電話74・0212)

対象団体	掛金(1人)
子どもの団体(中学生以下)	500円
文化・ボランティア・地域活動(高校生以上)団体	1,500円
高校生以上のスポーツ活動団体	800円
老人クラブなどの団体(60歳以上)	9,000円
危険度の高いスポーツ活動団体	

外来診療案内（2月1日現在）

○午前（受付時間：午前7時30分～午前11時30分）

診療科目	月	火	水	木	金	第2土	第4土	備考
内科	一診	五代（循内）	五代	五代	井上	五代	檀田	循内は隔週
	二診	檀田	檀田	（大学）	牧野	檀田		
	三診		井上		（脳内）		（脳内）	
	禁煙	檀田						
外科	（大学）	山根	大谷	山根	大谷		山根または大谷	
整形外科	山本	山本	（大学）	山本	山本	山本		
眼科	玉井	玉井	（大学）	玉井	（大学）			
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	
その他（大学）		泌尿器科		耳鼻科		心臓・血管 皮膚科		

○午後（受付時間：正午～午後4時）

診療科目	月	火	水	木	金	備考
内科	井上	（大学）	（大学）	五代	牧野	
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	水曜日は第2・4・5のみ
その他（大学）		心療内科		心臓血管	婦人科	心臓血管外来は第3木曜のみ

※医師の出張等により、診療日・担当医師が変更になる場合があります。

日野病院組合職員募集

日野病院組合では、1月末現在、看護師、准看護師及び管理栄養士（正職員）、看護助手（嘱託職員）、医療事務職員（臨時職員）を募集しています。詳しくは日野病院総務課頭本（電話 72-0351）までお問合せください。

求人情報	求人事業所名	所在地	職種	年齢	賃金（円）	就業時間	お問合せは、米子公共職業安定所根雨出張所（電話 72-0065）まで
	日本メンテナンスエンジニアリング（株）江府事業所	江府町大字佐川字小原2番地	環境衛生処理施設の維持管理及び保全業務	20～35	150,000～217,000	8:00～17:00	

ミニギャラリー情報

（町内の展示コーナーを紹介します）

- 日野総合事務所
『県が取り組む4Rパネル展～廃棄物を出さない持続可能な社会を目指して～』
～2月28日まで
『お客様満足度向上のための取り組みパネル展』
3月1日～31日まで
- 山陰合同銀行根雨支店
『宮本喜代子さん油絵展』
3月5日～4月6日まで
- 日野病院ロビー展
『町墨彩展』
～2月28日まで
- 蔵美術館
『西部地震、各界からの激励品展』～3月28日まで

■教育委員会からのお知らせ

平成19年第2回町教育委員会開催

2月6日、平成19年第2回の町教育委員会を開き、次の4つの議案について審議、承認されました。

議案① 町子ども育成会議委員の委嘱

議案② 町人権センター設立検討委員会委員の委嘱

議案③ 児童の区域外就学の承認

議案④ 平成18年度補正予算要求書の提出

議案①、②については、前回制定された要綱に基づいて各委員の委嘱を承認し、現在会議を重ねて議論しています。

議案③は、久住分校から黒坂小学校への就学等について許可しました。

議案④は、平成18年度教育関係の不用額にかかる減額予算を提出しました。

また、児童・生徒たちがスキー大会やソフトテニス大会で上位大会に出場することが決まり、町民の皆さんのご支援のたまものと喜ばしく思います。引き続き声援をよろしく願います。



子どもたちの健全育成が今後の課題に
（写真は黒坂小児童）

日野町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1

電話：74-0212 FAX：74-0105

E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

町民ミュージカルの取り組みを表彰 ■郡社会教育研究大会

2月4日、日南町総合文化センターで、第47回日野郡社会教育研究大会が開かれました。この大会は日野郡三町の社会教育関係者で構成している日野郡社会教育協議会（西村仁会長）・日南町生涯教育総合推進本部（矢田治美本部長）の主催によるもので、郡内から社会教育関係者ら約270人が参加しました。

大会は、それぞれの地域で住民自らが地域をいま一度見つめ、地域の良いところを再発見したり、地域の課題について話し合い、その解消に向けて行動するなどの実践活動を行って住民みんなの力で住みやすい地域にしていこうというもの。また、住民一人一人や、職場、グループがどの

ように学習し、実践していけばよいのかを先進事例に学びながら考えていこうという目的もあります。

大会では、社会教育・生涯学習の推進において功績が顕著な団体として、日野町民ミュージカル実行委員会（田口享会長）が文化振興・青少年健全育成に貢献されたとして、郡社会教育協議会長表彰を受けました。

そのほか、8・15にちなん邑ふる里マラソン実行委員会、江府町防犯ボランティアも同会長表彰を受けました。

その後行われた分科会では、3分科会に分かれ、講演などを聞きながら学習し、認識を新たにしました。



5年前から取り組んでいるミュージカル

四季の味覚を存分に味わう

■山菜を楽しむ会



恩田代表（写真右上）が各テーブルを回りながら素材を説明

地元で採れた山菜などの味わいを楽しんでもらおうと、1月28日、地元の女性グループ、萌会（恩田記子代表）主催の山菜を楽しむ会が町公民館で開かれました。

この催しは、萌会の会員が1年間かけて集めた食材をフルコース料理にしてふるまうもので、今回は町内外からの約50人が参加しました。

テーブルにはワラビ、ゼンマイ、香茸などの山菜をはじめ、サワガニ、イノシシなどの珍味を使った約30品の料理が並べられ、参加者は彩りも美しい料理に感心しながら味わっていました。「また来年も食べに来たい」との声もあり大変好評でした。

米子市美術館で小早川秋聲展

■町公民館・黒坂小所蔵の作品も展示

小早川秋聲^{しゅうせい}は、大正から終戦までの期間、京都画壇で活躍した郷土を代表する日本画家です。戦争時代を生きた日本画家小早川秋聲の画業と人となりを紹介するため、米子市美術館で作品展覧会が開催されます。

秋聲の父は、黒坂の光徳寺の住職であり、母方の元根津三田（現兵庫県三田市）藩主九鬼家の邸内で生まれました。

今回の作品展覧会は「戦争と未来」がテーマです。町公民館所蔵の作品「山中鹿之助の三日月を拝するの図」や、黒坂小学校所蔵の作品も出品しています。この機会にぜひご覧ください。

期 間 2月11日（祝）～3月18日（日）
会 場 米子市美術館（開館時間：午前10時～午後6時）
休館日 毎週水曜日

観覧料 一般 前売400円、当日500円
高校・大学生 前売150円、当日200円

※中学生以下無料

問合せ 米子市美術館（電話0859・34・2424）

平成18年度「西部の社会教育」を発行

平成18年度
西部の社会教育



西部地区社会教育担当者会

このたび、西部地区の市町村で構成する西部地区社会教育担当者研究協議会（社会教育主事等部会、公民館主事・職員部会、社会体育・スポーツ担当者部会、人権教育担当者部会、文化財担当者部会の5部会）が1年間の部会事業などをまとめた冊子を発行しました。

冊子は教育委員会事務局、公民館にあります。

子ども居場所づくり事業 ニュースポーツ教室

1月13日に黒坂小学校体育館、27日に日野中学校体育館でニュースポーツ教室を開きました。

直径122センチの大きなボールを使うキンボールでは、参加者が2チームに分かれ、体育館全体を使ってボールを追いかけてました。子どもから大人まで、一生懸命にサーブやレシーブを繰り返して、楽しみながらとてもいい運動になりました。そのほか、カローリング、ダーツ、輪投げなどのニュースポーツを体験しました。小さな子どもには特に輪投げが人気がありました。



自分の体より大きなボールをレシーブ

■町公民館ロビー展のお知らせ

- ①本郷の松本節哉さんの「手作り風作品展」開催中です。（3月2日まで）
 - ②町内の小中学校の児童・生徒の「ジーニア県展入選作品展」を開催します。（3月8日～31日まで）
- 場所は町公民館ロビーです。どうぞご覧ください。（展示時間：午前8時30分～午後5時30分）

おしどり学園閉講式のご案内

日 時 3月22日（木）9：00～12：00
場 所 町公民館
その他 昼食代等1,000円が必要です

※学園生には後日通知しますので、出席を希望する人は、3月14日（水）までに、町公民館までご連絡ください。なお、参加の際は公共交通機関をご利用ください。

町公民館の使用手続き

公民館を使用される方は、使用する3日前までに申請書を公民館へ提出してください。

- 使用できる日：年末年始（12月29日から1月3日）を除く日
- 使用できる時間：8時30分から22時まで
- 料金：町使用料条例による額

※ロビーは、午前8時30分から午後6時まで開放しています。

図書室もありますので、お気軽にお立ち寄りください。

隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1

電話：72-1191 (FAX兼)

E-mail: rinpokan@town.hino.tottori.jp



制度の仕組みを理解 奨学生学習会

1月30日、奨学生対象の学習会を下榎集会所で開き、地区内の奨学金を受けている高校生や保護者が参加しました。

この日は、根雨小学校の長田修平先生に奨学金制度ができたいきさつや、榎の実学習会の取り組みなど、スライドを使ってわかりやすく話していただきました。解放運動でかちとった奨学金制度ですが、今は一般施策となり、あまり昔の苦労話を聞く機会もなくなり

ました。

学習会に参加した奨学生たちは、熱心に先生の話を聞いて、この制度のありがたさを痛感していました。

心もホカホカにしし鍋交流会

根雨小学校PTA同催部の主催で、しし鍋を囲んで人権問題について語り合い、交流を深めようと、2月3日、『しし鍋交流会』を下榎集会所で開きました。

前日の荒天がうそのように朝から晴れわたたり、交流会には絶好の一日となりました。

した。

保護者のお母さんたちを中心に、正午からしし鍋の下準備に入り、夕方には約100人前のしし鍋が出来上がりました。

食事の前に佐々木武彦さんによる、絵本を使った人権のお話を聞き、それについて話し合いながら、煮込まれたしし鍋に舌鼓を打ち親ほくを深めました。



男女がともに安心して子育てができる社会を

柳沢厚生労働大臣による、松江市で開かれた自民県議決起集会でのいわゆる『産む機械発言』ですが、女性を機械や装置にしか例えられないということは、普段からそういう目で女性を見ているのでしう。年金や福祉のために子どもを産んでいるわけではなく、産んで育てるのは、

女性だけの役目ではないはず。機械や装置には、痛みや苦しみを、ましてや子どもに

対しての愛情などないもの。本気で少子化問題を考えるなら、男女共同参画が叫ばれている中、男性も子育てに協力しやすい世の中にしていけることも含めて、もっと、子どもを安心して産み育てる環境づくりをどうするかを検討するべきではないでしょうか。

※おことわり
隣保館木工講座は、講師の都合により、2月からリフォーム教室・料理教室に変更して開いています。詳しくは、隣保館にお問合せください。

3月の学習講座予定	
■編み物	10日(土) 午後7時～ 老人憩の家(講師 安達利子さん)
■生活の知恵	17日(土) 午後7時～ 下榎集会所(講師 恩田記子さん)
■料理	18日(日) 午前10時～ 下榎集会所(講師 妹尾仁津美さん)
■生け花	20日(火) 午後7時30分～ 下榎集会所(講師 生田清子さん)

※学習講座の日程を変更する場合がありますので、初めて参加される方は隣保館までお問合せください。

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinotosyo@book.town.hino.tottori.jp

月～金 午前9時30分～午後6時

土・日 午前9時～午後5時

カレンダー

○印が休館日です

3月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

図書館の展示コーナー

ジュニア県展 入選作品展

2月21日(水)～3月5日(月)

柴原みどりさん

花のクロスステッチ展

3月7日(水)～3月30日(金)

●図書館おはなし会

3月17日(土) 10:00～

場所：図書館絵本コーナー

■春のおはなし、わらべうたの
絵本ほか(参加無料)

●木のおもちゃづくり

3月18日(日) 10:00～

場所：図書館車庫

■おひなさまの組み木などをつ
くります(材料費実費)

●サイエンスアカデミー講座

3月24日(土) 10:30～

場所：図書館資料コーナー

■テーマ「食品の安全安心のため
に」講師：箕一郎氏

じげじまんを聞かせてください

昔ながらの言い伝え、地元に残る昔話などを募集しています

現代社会の中で失われつつある地域の文化を後世に残すため、文化センター・図書館では、地域に残る昔ながらの言い伝えや行事、昔話などを聞かせてもらう「語り継ごう!! じげじまん」をはじめます。

「とんとん昔があったげな」ではじまる昔話や宮ごもり、うるう講などの伝統行事、地域に残る風習などをお寄せください。どんな小さなことでもかまいません。

語っていたいた内容は、録音して記録に残したり、広報ひので紹介したいと考えています。また、ご近所に語っていただける人があればご紹介ください。

詳しくは図書館までお問合せください。

例えば…



写真：「日野町誌」より

ユートピア音楽倶楽部

大正12年ごろ、根雨地区の音楽愛好の青年らを中心に結成されました。楽器もクラリネット、ホルネット、トランペット、尺八、ギターなど多彩で、高度な技術をもち、毎年1回、小学校講堂で音楽会を開いたり、町民運動会で音楽を担当したり、祇園館を借りて映画会を開いたりしていました。



2007年度雑誌リクエストをどうぞ!

今年度、図書館では38種類の雑誌を購入しています。

現在、新年度の雑誌購入のためのリクエストを受け付けています。

今年入っている雑誌も含めて、入れてほしい雑誌がありましたらリクエストしてください。(受付期間＝3月10日(土)まで)

また、雑誌を定期的に寄贈していただける人も募集しています。

詳しくは町図書館までお問合せください。



ひのっこ保育所 子育て支援室

おひさまひろば だより

ひのっこ保育所子育て支援室「おひさまひろば」では、保育所に入所していない子どもたちを迎え、毎週水曜日の午前9時～午前11時まで、親子で楽しく遊んでいます。

おひさまひろばの時間設定は次のとおりです。

- 9:00～11:00 受付（随時受付しています）
- 9:00～ 絵本読み、室内おもちゃ遊び（積木、ブロックなど）、ふれあいあそび（わらべうたなど）
- 9:30～ 一斉活動（折り紙、お話し会など）
- 10:00～ 外遊び（雨天の場合は室内遊び）
- 10:40～ 片付け、ティータイム（各自持参）
- 10:50～ 支援室掃除、次回日程打ち合わせ
- 11:00～ あいさつ（終了）

1月は雪遊びを予定していましたがほとんど雪がなく、残念ながらできませんでした。室内で、

ままごとや小麦粉粘土、折り紙など、親子で楽しく過ごしました。

小麦粉粘土は感触もよく安全に遊べ、子どもたちも丸めたり伸ばしたりして楽しみました。

また、図書館からのおはなし会の最後に、恒例となった『グッパ体操』は、音楽に合わせて体を動かすことで、お母さんたちの日ごろの運動不足解消にもなっています。

3月は、町公民館に出かける日もあります。お誘いあわせお出かけください。

連絡先 ひのっこ保育所 担当 音田
(電話 72-0238)

● 3月の日程

7日：折り紙遊び（町公民館）
保健師による子育て相談日

14日：町図書館からのおはなし会

※ 21日、28日はお休みです

こころの散歩道 日野町俳句同好会 選

生姜湯のとりりと甘き尼の寺（講師）谷 悦子
初日の出杉の鋒先鮮やかに 安達つるる
家計簿の隅にしたため初日記 荒木 習子
冠雪に王者の品格伯耆富士 勝瀬 京子
粥掬ふ何れがなすなほとけのざ 川上 文子
孫去んで正月中のごみを出す 久城 霞溪
竹林のさざめく中に笛子鳴く 徳本千鶴子
とんどうに加へるものの束を解く 真壁富貴枝
(五十音順)

鳥取NOW 第73号

3月1日発売！



巻頭特集「南米移住物語（後編）」：パラグアイのイグアス移住地に暮らす鳥取県人会の人たちの横顔などを紹介。特集では、大山町の陣構茶生産組合の取り組みを紹介。

■ 年4回発行 ■ 最寄りの書店または役場総務企画課で購入できます ■ 1冊300円

編集後記

■ 不覚。風邪を引きました。予防にとビタミンCを摂り、毎日うがいし、寝るときは首にタオルまで巻いていたというのにっ！■ 悔しいので、急に寒くなったり暖かくなったり、異常気象のせいに見ましたがいかげしょう■ しかし雪が降りませんね。昨年のような大雪は勘弁ですが、ここまで降らないと不気味です。(i)

（氏名） （年齢） （住所）

1月届出分 石田 嘉美 79歳 下榎
若林 千年 54歳 金持
2月届出分 武田 男也 59歳 根雨

おくやみ

ご冥福をお祈りします

影山 莉子

尊彦・昌子 女の子 三谷

（出生児）

（保護者（性別）（住所）

おめでとうございます

赤ちゃん誕生

届出 1月11日～2月10日 敬称略

1月31日現在

わ たしの町

(前月比)

人口 4,191人 (-7)
男性 1,962人 (-6)
女性 2,229人 (-1)
世帯 1,557戸 (-4)

3月 ぐらしのカレンダー



MARCH (弥生)

健康づくりへひとこと

たばこ…どんな形や装いでも命取り
禁煙について考えてみましょう

1 木	確定申告 開発センター 午前=秋縄 午後=下榎2区
2 金	乳児健診・BCG予防接種 開発センター 受付: 午後1時15分~午後1時30分
3 土	
4 日	
5 月	人権相談 開発センター 午後1時~午後3時 ----- 心配ごと・子育て・高齢者生活相談 開発センター・老人福祉センター、午後1時~午後3時 ----- 健康相談 町公民館 午前9時~午前10時 ----- 不燃・資源ごみの収集日(黒坂・菅福地区) ----- 確定申告 町公民館 午前=黒坂1区 午後=下菅、黒坂下3区
6 火	確定申告 町公民館 午前=久住、黒坂7区 午後=黒坂上3区、黒坂4区
7 水	ペットボトルの収集日(1・2・3班) ----- 確定申告 町公民館 午前=下黒坂地区 午後=黒坂2区
8 木	年金相談 開発センター 午前10時~正午、午後1時~午後3時 ----- 不要犬・猫引取り日 日野保健所 ----- 確定申告 町公民館 午前=上上菅 午後=福長地区
9 金	確定申告 町公民館 午前=下上菅、中上菅 午後=中菅地区
10 土	隣保館編み物講座 老人憩の家 午後7時~
11 日	
12 月	歯科検診・フッ素塗布 開発センター 受付: 午後1時~午後1時15分 ----- 不燃・資源ごみの収集日(根雨・日野地区) ----- 確定申告 町公民館 午前=黒坂6区、小河南地区 午後=黒坂5区
13 火	確定申告 町公民館 黒坂・菅福地区の補足日(午前、午後とも)
14 水	行政相談 開発センター 午前9時~正午 ----- ペットボトルの収集日(4・5・6班)

14 水	確定申告 開発センター 根雨・日野地区の補足日(午前、午後とも)
15 木	確定申告 開発センター 全地区の補足日(午前、午後とも)
16 金	
17 土	隣保館生活の知恵講座 下榎集会所 午後7時~
18 日	隣保館料理講座 下榎集会所 午前10時~
19 月	古紙の収集日(黒坂・菅福地区)
20 火	不燃粗大ごみの収集日(黒坂・菅福地区) ----- 隣保館生け花講座 下榎集会所 午後7時30分~
21 水	春分の日(可燃ごみの収集は休みます)
22 木	不要犬・猫引取り日 日野保健所 ----- 水曜日と木曜日の地区の可燃ごみを収集します
23 金	
24 土	
25 日	
26 月	古紙の収集日(根雨・日野地区)
27 火	不燃粗大ごみの収集日(根雨・日野地区)
28 水	ペットボトルの収集日(7・8・9班)
29 木	
30 金	
31 土	

■確定申告の時間

午前=開発センター: 午前8時45分~午前11時、町公民館: 午前9時~午前11時
午後=両会場とも午後1時~午後4時

※3月のミニギャラリー情報は13ページに掲載しました

直通電話	総務企画課 72-0331	住民課 72-0333
	産業振興課 72-2101	黒坂支所 74-0211
	農業委員会 72-2103	教育委員会 72-2107
	地域包括支援センター 72-1852	ひのっこ保育所 72-0238

出納室 72-2105	健康福祉課 72-0334
公民館 74-0212	議会事務局 72-0335
文化センター 72-1300	給食センター 72-1167
黒坂保育所 74-0225	下榎集会所 72-1191
役場代表番号(夜間・休日) 72-0331	

町長の定期便

第11回

暖かい冬に思う

この冬は暖冬のようなのですが、2月に入り久しぶりに雪が降りました。生活するには暖かい冬の方が良いのですが、雪がなければ何かと都合の悪いこともあるようです。春先の重い雪はいろいろな被害を与えるので、冬は適度な雪があるほうが良いのではないのでしょうか。

1月20日には、大阪市内で開かれたひの郷会（関西地区の日野町出身者の会）総会に出席しました。あいさつの中で、まちの現状をつぶさに報告させていただき、ご協力を求めたところです。30人の出席者のうちからは、望郷の念もあり、町長も頑張ってほしいと激励を受けたところでした。

今、このまちでは金持神社への参拝と日野川のオシドリ観察に、町内外から多くのお客様でにぎわっています。マスコミにも取り上げていただき、知名度も全国版となった感があります。

元旦の早朝に、横浜から金持売店にお越しになった男性とお話をしました。その方は金持神社にお参りするの3回目との事で、金運・開運を求めている旅で過去にご利益があったとお話でした。

このように、夢を追ってのお参りに貢献できる金持神社は、徐々にはありますが全国に認知されてきたようです。

これからは、黒坂方面にも歴史を求めているお客様を誘致することを検討したいと思っていますところですので。

（2月7日記）

日野町長 景山 享弘

町食生活改善推進協議会さん オススメ料理 ③⑥

たれがしみ込んだなすとチーズがからんで食欲をそそります



ナスのチーズ丼

■ 1人分栄養量

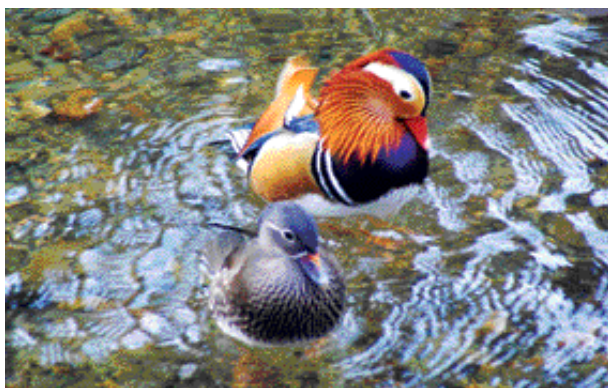
▶エネルギー 491kcal ▶たんぱく質 11.3g
▶脂質 13.1g ▶カルシウム 182mg ▶塩分 1.6g

【材料】4人分

●なす（4本） ●サラダ油（大さじ2）
●スライスチーズ（とろけるタイプ、4枚）
●大葉（10枚） ●かつお削り節（5g）
●いりごま（大さじ1）、●ごはん（4人分）
●A【だし汁（大さじ2）、しょうゆ（大さじ2）、
みりん（大さじ2）、日本酒（大さじ2）、砂糖
（大さじ1）】

【作り方】

- ①なすはへたを切り落として縦半分に切り、味がしみ込むよう、さらに縦に切り込みを入れる。大葉は6枚だけ千切りにする。
- ②フライパンにサラダ油を熱し、なすを入れて表面がうっすらきつね色になるまで焼く。
- ③②にAを入れて加熱し、なすにからめる。
- ④火を止め、半分に切ったスライスチーズを③のなすの間にはさむ。
- ⑤器にごはんを盛り、大葉を敷いてなす2個（1本分）をのせてたれをかけ、かつおぶし、ごま、千切りにした大葉を飾る。



『いい湯だなハハハハ。日野川温泉だね』
撮影 ●加藤好男さん（岡山県総社市）

【連絡先】

オシドリグループ事務局
森田（電話72-0271）

高円宮妃殿下久子さまが、1月29日オシドリ観察に。内密なので歓迎行事などはありません。観察小屋で1時間近く写真撮影なさいました。その後、お手植えをお願いしました。以前、片山知事さんからいただいた知事公舎のドングリ。プランターに植え、芽を出して5年目。その苗木をお手植えしていただきました。光栄の至りです。今でも夢を見ているようです。

夢では？

オシドリ
にゆづす

VOL. 108



●広報ひの2月号 NO. 637

●発行 日野町役場 〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨101 TEL (0859) 72-0331 FAX72-1484

●編集 総務企画課 ●印刷 株式会社高下印刷

●ホームページ <http://www.town.hino.tokushima.jp/> ●電子メール hinokan@town.hino.tokushima.jp



広報ひの

20